

～デザインビルド設計チームからの提案について、建築・まちづくりの専門家と共に考える～
新市庁舎計画案デザインレビュー(発表会)を開催します

新市庁舎整備は、竹中・西松建設共同企業体（JV）が基本設計から施工まで一括（デザインビルド）して担当しますが、設計段階のデザイン監修者として榎総合計画事務所（代表 榎文彦氏）が参画しています。

このたび、市民の皆さまに新市庁舎整備計画を広くお知らせし、一緒に考えていただく取組の一環として、竹中・西松 JV から昨年秋に提案された計画案について、榎文彦氏及び設計チームが説明し、まちづくりや建築に精通した地元横浜の専門家とデザイン等について議論するデザインレビューを、日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会、日本建築学会神奈川支所、神奈川県建築士会とともに開催します。

多くの市民の皆さまにも会場にお越しいただき、共に考えていただくことで、横浜らしさを感じられ、皆に親しまれるような新市庁舎を実現したいと考えています。

【開催概要】

《タイトル》横浜市新市庁舎計画案デザインレビュー

～デザインビルドを主導する建築家と設計チームが新市庁舎案を語る～

《日時》平成 28 年 4 月 27 日（水） 18:30～20:30（受付開始 18:00）

《場所》横浜市開港記念会館 講堂

《主催》一般社団法人 日本建築学会関東支部神奈川支所

一般社団法人 神奈川県建築士会

公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会（JIA 神奈川）

《共催》横浜市

《内容》

計画案コンセプトについて 榎 文彦、福永知義（榎総合計画事務所）

技術提案について 竹中・西松建設共同企業体設計チーム

質疑応答〈質問者〉 野原 卓（横浜国立大学准教授）

〈 〃 〉 小泉 雅生（JIA 神奈川副代表、首都大学東京教授）

〈モデレーター〉 飯田 善彦（JIA 神奈川代表）

※入場無料、事前申込みは必要ありませんが、

手話通訳が必要な方は 4 月 13 日（水）までに 次の連絡先までご連絡ください。

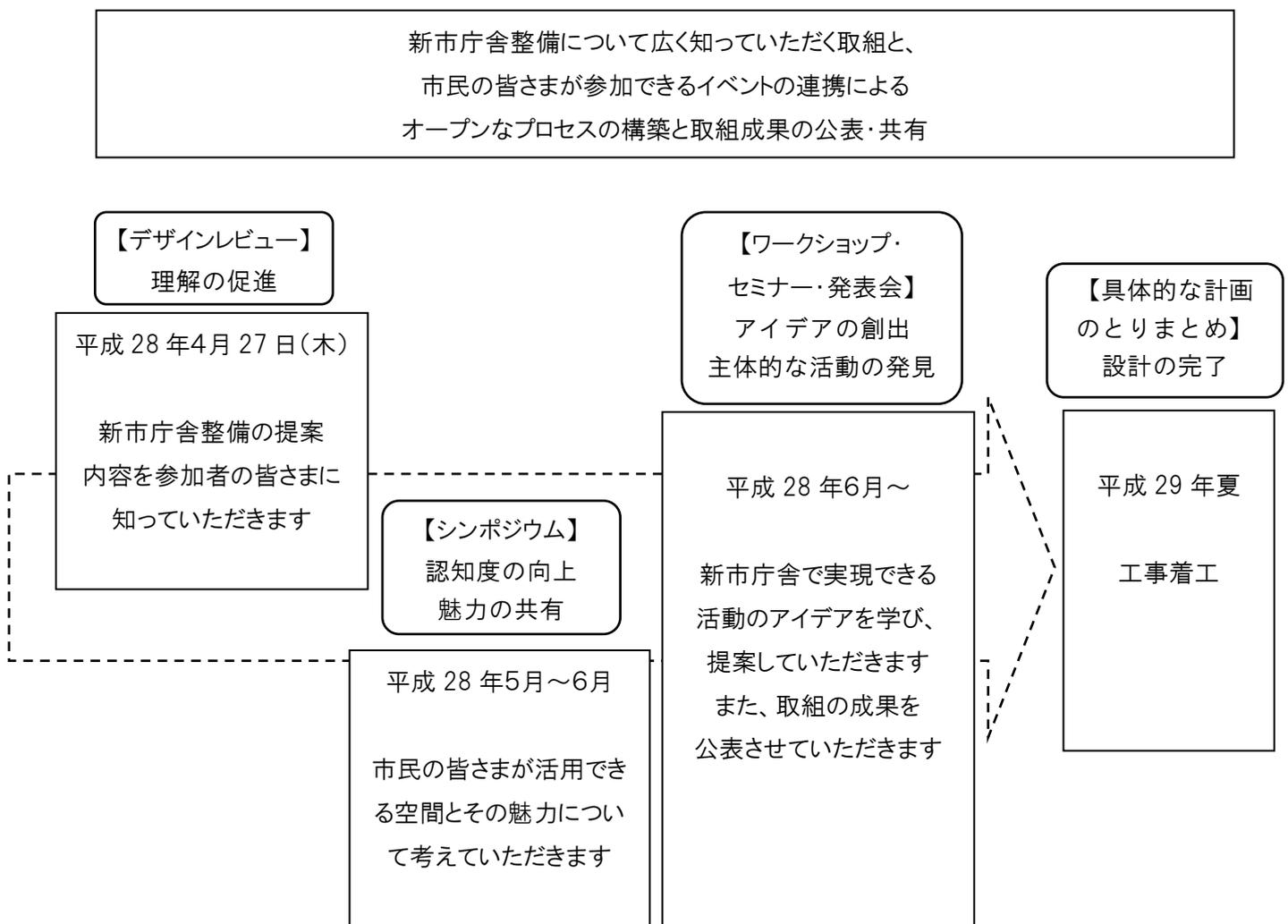
TEL: 045-671-4113 FAX: 045-664-2501 email: so-chosyaplan@city.yokohama.jp

※取材を希望される場合は、直接受付へお越しください。

【参考】 今後の取組イメージ

平成 28 年度は設計作業を進めますが、並行して、市民の皆さまに、新市庁舎整備に関する計画概要や、オープンスペース等が設けられる低層部の魅力を知っていただくための、シンポジウムの開催も予定しています。このシンポジウムでは、広場や水辺の活用、市民・文化活動などの分野で活躍する専門家をお招きして、参考となる先進事例を紹介していただくとともに、横浜市内で活動されている方も交えた意見交換を行う予定です。

また、新市庁舎で行いたい活動、参加・企画したいイベントなどのアイデアとその実現方策を考えていただくワークショップやセミナー等も計画しています。設計者や市の担当者もこうしたイベントに参加し、参加者の皆さまのアイデアを設計作業の参考にしたり、管理・運営ルールの検討などに反映させたりしていきます。



※ シンポジウムやワークショップ等の取組については、具体化次第、記者発表を行う予定です。

お問合せ先

総務局管理課	新市庁舎整備担当課長	佐藤 康博	Tel 045-671-4112
建築局施設整備課	新市庁舎整備担当課長	大場 重雄	Tel 045-671-4488



横浜市新市庁舎計画案デザインレビュー

4/27@開港記念会館

横浜市新市庁舎計画案デザインレビュー

ーデザインビルドを主導する建築家と設計チームが新市庁舎案を語るー

2016年2月 横浜市新市庁舎デザインビルド(以下DB)事業者が決定しました。基本設計から施工まで一括して施工会社が担当する、というこれまでにない方法に対し、建築界からは危惧の声もあがっていました。

「新市庁舎は、計画地の都市的文脈、環境、構造、コスト等多くのファクターを読み込み、これからの横浜を象徴する市民のための先進的なシティホールとして計画されるべきものであり、また、DB方式であるにしても、これらの点を具体化するために優れた設計者あるいは建築家が主導的な役割を果たすべきである」と考え、JIA神奈川では要望書を提出するとともに研究会を立ち上げ、事業提案計画作成に際して特に留意すべき事柄の整理などについて横浜市と意見交換をしてきました。

今回、横浜市新市庁舎の事業者は、竹中・西松建設共同企業体に決定しましたが、このチームには榎総合計画事務所がデザイン監修者として参画しています。

今後基本設計が本格化するこのタイミングで、日本建築学会神奈川支所、神奈川県建築士会も加わり、横浜市の理解も得て、昨年秋に提案された計画案の主旨等について、デザイン監修者である榎総合計画事務所・榎文彦氏と竹中・西松チームから、新市庁舎提案のコンセプトや内容の説明を受け、質疑応答を行う場を設けることになりました。

この機会を、より良いシティホールを実現するために、市民に開かれた設計プロセスの第一歩にできれば、と考えています。

■日 時 : 平成28年4月27日(水) 18:30~20:30(受付開始18:00)

■場 所 : 横浜市開港記念会館 講堂

■主 催 : 一般社団法人 日本建築学会関東支部神奈川支所

一般社団法人 神奈川県建築士会

公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会(JIA神奈川)

■共 催 : 横浜市

■当日スケジュール :

18:30~	挨拶(主旨説明)	国吉直行(建築学会神奈川支所長、横浜市立大学特別契約教授)
18:40~	計画案コンセプトについて	榎 文彦、福永知義(榎総合計画事務所)
	技術提案について	竹中・西松建設共同企業体 設計チーム
19:40~	質疑応答(質問者)	野原 卓(横浜国立大学 准教授)
	< " >	小泉雅生(JIA神奈川副代表、首都大学東京 教授)
	< モデレーター >	飯田善彦(JIA神奈川代表)
20:20~	今後の進め方について	鈴木和宏(横浜市総務局新市庁舎整備担当部長)
	終了挨拶	金子修司(神奈川県建築士会会長)

※入場無料、事前申込みは必要ありませんが、

手話通訳が必要な方は4月13日(水)までに次の連絡先までご連絡ください。

TEL: 045-671-4113 FAX: 045-664-2501 email: so-chosyaplan@city.yokohama.jp

【問合せ先】

JIA神奈川

045-663-2745

横浜市総務局新市庁舎整備担当

045-671-4113